

もりおか女性センター主催講座終了 自主グループ紹介 ①

平成 24 年度「もりおか女性センターフェスティバル 2012」において、ワークショップならびに展示を開催した主催講座修了生の自主グループ 3 団体について、隔月でご紹介していきます。

グループ名「エンパワーメント 11 (い) わて」

平成 21 年度から実施している主催講座「思いを力に変える、女性のためのエンパワーメント塾」の第 1 期生 12 名のグループです。

講座で学んだ事柄について、さらに学びを深めるとともに、深めた学びを実践することを通じて、メンバー自身のエンパワーメントと男女共同参画社会の実現に貢献することを目的に、震災後の平成 23 年 5 月に結成しました。会の名称の「11」は結成の 2011 年に由来しています。

ともに集い、語り、学び、実践することを主な活動内容とし、ゆる〜く、なが〜く、お休みも OK と、お互いを認め合うことが活動の基本になっています。メンバーは 20 代から 70 代の女性で、主婦や団体職員、行政職、教育関係、TV レポーターなど年齢も経験も環境も違う多彩なメンバーで構成されています。また、今年 3 月にはメンバーの中から女性議員が誕生しました。

結成以降の主な活動は、岩手県の震災復興計画（案）に対するパブリックコメント提出、もりおか女性センター市民団体支援事業にてワークショップ開催、国立女性教育会館主催事業にて報告、岩手大学男女共同参画推進室主催シンポジウムにて報告、現在は岩手県内の被災女性・支援女性を対象としたアンケート調査などがあります。

そして、今回の「フェスティバル 2012」におけるワークショップ『わたし』のふっこう（復興・復幸）〜いわてのふっこうと女性のチカラ〜を開催し、アンケートの中間報告とグループワークを実施しました。



【今回のワークショップの様子、新聞にも掲載されました。】



今後の活動は、アンケート調査報告の作成を中心に進めていく予定です。

● 女性相談（本館）

相談受付電話 **019-604-3304**

女性がかかえる、家庭や職場、身の回りのさまざまな悩みを、専門の相談員と一緒に考えます。性別や社会通念にとらわれず、一人ひとりの生き方を尊重する社会の実現をめざして、相談室はあなたらしい生き方を支援します。

- 相談には電話相談と面接相談があり、予約が必要です。
- 相談は無料です。秘密はかたく守ります。
- 相談開設時間

	10:00	17:00	20:00
月	10:00 ~ 17:00		
火	10:00 ~ 17:00		
水	10:00 ~	20:00	
木	10:00 ~	20:00	
金	10:00 ~ 17:00		

（第 2 火曜日、年末年始、祝日は休み）



もりおか女性センター

管理・運営：特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

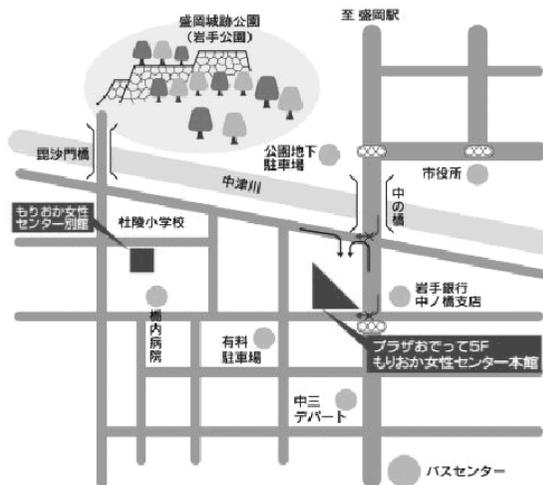
もりおか女性センターは、女と男がともに参画する社会をめざして女性をとりまく様々な問題を考え、解決するための施設です。男女を問わず、すべての市民が気軽に利用できます。

■ 本館

〒020-0871 岩手県盛岡市中ノ橋通 1-1-10 プラザおでって 5 階
電話番号 (019) 604-3303 FAX 050-2013-4750
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:30 (土日祝 17:00 まで)
休館日 毎月第 2 火曜日、年末年始

■ 別館

〒020-0878 岩手県盛岡市肴町 2-8
電話番号 (019) 624-3583 (FAX 兼)
開館時間 月曜日～金曜日 9:00～21:00
休館日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始



（バス）盛岡駅より茶畑・バスセンター方面行き バスセンター前下車 本館まで徒歩 3 分、別館まで徒歩 8 分

※女性センターには、本館・別館ともに専用の駐車場はありません。おでって地下駐車場や近隣の有料駐車場をご利用ください。

ホームページ <http://mjc.sankaku-npo.jp>

あとかぎ

- ◆フェスティバルが終わり、女性センターは今「女性に対する暴力をなくす運動」を展開中。この時期寒さは日毎に増し、今、昨年の運動で配布した紫色の手袋をはめて出勤しています。そして別館もまた底冷えの季節に突入、ひざ掛けとホッカイロが手放せなくなりました。今はただ暖房の入るのを心待ちにしています。（Y）
- ◆女性センター事業「なくそう女性に対する暴力 2012」では街頭キャンペーンを行います。この時期に大活躍のグッズ配布も行います。ぜひご参加ください。（A）

ひと ひと
—女と男、ともに参画する社会をめざして—

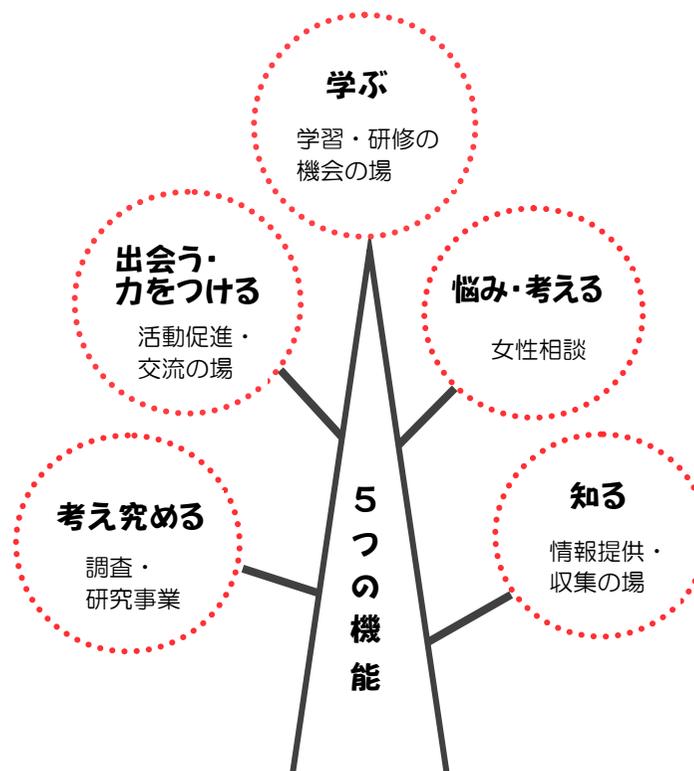
もりおか女性センター

2012 年
11 月
No. 39

ニュースレター

内容

- ◎ 「女性に対する暴力をなくす運動」
- ◎ 講座情報
- ◎ 事業終了報告
- ◎ 団体紹介：エンパワーメント 11 (い) わて



平成 24 年度事業テーマ
『学び、つながり、切り拓く!』

発行：もりおか女性センター

11月は、「女性に対する暴力をなくす運動」月間です



女性に対する暴力をなくす運動
平成24年 11月12日(日)～11月25日(日)
0570-0-55210

国（内閣府）では毎年11月12日から11月25日までの2週間を「女性に対する暴力をなくす運動」の期間として地方公共団体、女性団体、その他関係機関が協力連携し、意識啓発に取り組んでいます。
*11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」

この時期に合わせ、もりおか女性センターでも毎年啓発活動に取り組んでいます。今年も11月9日（金）～15日（木）を運動週間として、イオンモール盛岡南店と肴町商店街で啓発街頭キャンペーンをおこないます。詳しくはお問い合わせください。



「女性に対する暴力をなくす運動」とは…

女性に対する暴力には、DV（ドメスティック・バイオレンス）や性犯罪、売春、人身取引、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー等様々なものがあります。これは、女性の人権を著しく侵害するものであり、女性に対する暴力の根絶は、男女共同参画社会を形成していく上で、克服していかなければならない重要課題とされています。この運動は、暴力で苦しんでいる人にメッセージを届けるとともに、暴力を容認したり表面化しにくくしたりする社会を変えていこうとする運動です。

● 講座情報

男性講座 「子育て応援隊！イクジイ入門講座」

おしちゃん
出番ですよ～

内 容：①「孫との楽しい過ごし方入門」②「絵本の読み聞かせのコツ！」③「クリスマスに向けて～孫に贈るジイジからの手づくりおやつ～」
日 時：①12/2（日）②12/6（木）③12/13（木）全3回
時 間：10：00～12：00 ※③のみ13：00まで
対 象：お孫さんのいる男性、または育児に関心のある男性
定 員：15人
会 場：もりおか女性センター 別館
参 加 費：無料 ※但し、③のみ材料費500円
申込方法：11/20（火）10：00～ ☎ 624-3583にて先着順に受付

起業応援ルーム 「芽でるネット パソコンミニセミナー」

起業を目指している方、または就職活動中の女性を対象に、少人数制のパソコンミニセミナーです。パソコン初心者という方にもスタッフがサポートします。

- ①ツイッター体験セミナー 11/20（火）10：00～12：30
※パソコンの文字入力ができる人
- ②インターネット体験セミナー 11/27（火）14：00～15：30

定 員：①、②共に 女性 各5人
会 場：もりおか女性センター 別館内 起業応援ルーム
参 加 費：無料
申込方法：①、②共に 11/6（火）12：00～
☎ 624-3583にて先着順に受付



● 事業報告

「フェスティバル2012」終了

10月5日（金）～7日（日）の3日間、もりおか女性センターフェスティバルを本館・別館の二会場で開催いたしました。
本館会場では、映画「マルタのやさしい刺繍」上映会&トーク、市民団体によるワークショップや展示、また、別館会場では、日頃別館を拠点に活動しているさまざまな団体の成果発表などがおこなわれました。
多くの市民の皆さまにご来場いただきありがとうございました。

別館 利用団体 発表

オープニングは、歌で起業を目指しているIZUMIさんのオリジナル曲「夢に向かって」を参加者の皆さんと一緒に歌い、フェスティバルは別館からのスタートとなりました。



手話の振り付けで歌うIZUMIさん

自主グループ27団体の
成果発表。
皆さんのパワー全開！



リフレッシュ体操。
皆さんも一緒に！



書道の展示を観る来場者



演劇ボランティア



起業応援ルーム IT体験

市民団体 支援事業

市民グループ応援事業として「地域活動と男女共同参画」をテーマに企画を募集し、4団体が女性センターフェスティバルでワークショップと展示をおこないました。



意見交換する参加者

団体：エンパワーメント11(いわて)では、東日本大震災で被災、または支援にあたった県内の女性150人に復興に対するアンケート調査を実施。今回、その中間報告としてワークショップ「『わたし』のふっこう(復興・復幸)～いわてのふっこうと女性のチカラ～」を開催。一般参加者も交えて意見交換の場となりました。

*「エンパワーメント11(いわて)」については、裏のページで紹介。

展示は、COO会(くーかい)「カジダン(家事男)レシピ紹介」、気づきの会いわて「私たちのエンパワーメント第一歩！～これまでの学びと気づき、そしてこれから～」、岩手レインボー・ネットワーク「にじいろの学校～安全で『わたし』らしくいられる学校をめざして～」の3団体。



上映会& トーク

■「マルタのやさしい刺繍」上映会&トーク

上映会には、たくさんの方たちにご参加いただきました。勇気が湧いてくる内容の映画、そして松本さんの楽しいトークに参加した皆さまより好評の声をたくさんいただきました。



トーク「映画に観る女性の生き方」

まつもと ゆみこ
松本侑子さん(映画評論家/ジャーナリスト)

映画というのは、自分が見て自分が感じる事が一番大切です。今日は見る視点など参考にして聞いて欲しいと思います。

*以下、トークより要約



映画を見て、女性の視点から見た時こんな風には描かないと思ったりする。“自分の目で映画を見る”他人と意見が違ってよい。“私はこう思う”そういう見方をすると、自由に居心地がいい。自分の世界がもっと広がる。わからないところは、わからないでいい。面白かったところだけ楽しめばいい。気になっている部分がある方が次に映画を見た時に解決することがある。そうすると、また一段と深まる。

映画によって学ばされる。

学生時代は映画少女だった。新聞記者になり6年半映画を担当して好きな映画を仕事にでき至福の時代だった。その後、女性問題に関わり記事がたくさん書いた。それまで意識していなかった女性問題だったが、ナイロビの世界女性会議の時、活動している人たちにインタビューをしているうちに薄皮が剥がれていった。その中で、この現実の女性問題と映画で納得いかない部分に共通するものがあることに気づいた。そして、発見した。この映画は誰が作っているのか。映画は男の世界だった。

映画は、映像からイメージや強烈なメッセージを伝えることができる。映画で一番興味をそそられるのは、いつでも男と女の話。そして、女はいつも描かれる存在。その場面で女性は重要な役割だった。女性が描かれるだけの存在でなく、自己主張のあるリアルな姿を描きたいと撮り始めたのはごく最近。1963年女性解放運動がおこり、女性の理想像ではなく女性の本心を女性が描く。70年代になると、そんな女性を理解し始めた男性も撮るようになった。今や映画は時代とともに変わり、女性問題を分析、考える素晴らしい手段である。

今回の「マルタのやさしい刺繍」は、派手ではないが素晴らしい作品。非常に良く考えた構成になっている。伝統と違うことをするおばあちゃんたちのパワーが無理なく出ている。この映画は、新しく殻を破って一歩前に出る、痛快な現代女性の目覚めと勇気というメッセージを送っている。今年の女性センターのテーマにまさにぴったりの映画だった。

【参加者の声】

- *映画を見て、何歳になっても自分のやりたいことができると思いました。周りの友達があればこそ。松本さんのお話し、とても楽しかったです。
- *面白かったです！国を問わず、性別、世代、家族間の問題は同じなんだと感じました。
- *新しく始めることは、多かれ、少なかれ困難を伴います。それを乗り越える根気や力強さが大切と教えられました。
- *素晴らしい時間を過ごしました。